

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第3節 急性心筋梗塞

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 予防
→ 県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、神奈川県生活習慣病対策委員会(H28:委員会1回、部会3回、分科会6回、H25からの累計:委員会4回、部会9回、分科会24回)、かながわ健康プラン21推進会議(H28:2回、H25からの累計:8回)を開催し事業検証を行うとともに、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るための検討を行った。 → 県民、企業、学校、行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン21地域・職域連携推進部会を開催(H28:1回、H25からの累計:4回)、市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催(H28:2回、H25からの累計9回)するとともに、研修、健康教育を実施した。 → かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等)を開催した。またそれらイベントの情報を取りまとめ、ホームページで情報提供した。 → 健康寿命の延伸を実現するため、有識者や先進的な取組を行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議(平成25年5月設置)を開催した。(H28:1回、H25からの累計7回) → 健康寿命の延伸を目指して、「食」「運動」「社会参加」を中心とした県民の生活習慣改善の実践を支援するため、手軽に健康チェックやその結果に基づくアドバイスが受けられる「未病センター」の設置促進を図った。
(2) 医療
ア 病院前救護体制及び急性期医療 → 県央医療圏における脳卒中・急性心筋梗塞等に対する救急機能を強化するため、二次救急医療機関に対する運営費及び施設整備の助成を実施した。 (H25～H27:補助施設23施設) 急性心筋梗塞発症時の主な受入れ先となる救命救急センターの施設整備及び運営費に対する助成を行った。(H25年度～H28年度:8施設) → 急性心筋梗塞に対する医療提供体制の充実強化を図るため、横浜南部、湘南西部、県央医療圏において新たに救命救急センターを指定した。(H28:1施設、H29:2施設) → 搬送時間が救命率に影響する重症患者に対する迅速な救急搬送体制を確保していくため、救命救急センターが設置するドクターヘリの運航経費等に対して助成を実施した。

	(H25 年度～H28 年度：1 施設)
イ	急性期後の医療 → 在宅要介護者を介護する者（在宅介護者）への訪問歯科保健指導に必要な機器等の購入補助を実施した。（平成 25～26 年度の累計 32 件）
ウ	医療機能の情報提供及び連携の推進 → 急性心筋梗塞の治療に対応できる医療機関について、県内の医療機関からの報告を受け、かながわ情報検索サービスのホームページにおいて公表した。

2 目標値の推移

取組 区分	名称	単位	策定時	実績値 (H28)	達成目安	目標値 (H29 年度)	達成率 (%)	備考
(1)	特定健康診査の実施率 (再掲)	%	40.3 (H22)	48.6 (H26)	57.1	70.0 以上	△ (49.4%)	医療費適正 化計画
(2) ア	急性心筋梗塞に対する経 皮的冠動脈形成手術件数	件	2,403 (※1) (H22)	2,269 (4,539) (H27)	2,508	2,550(※2)	△ (-127.6%)	NDB
(2) イ	心臓リハビリテーション が実施可能な医療機関数	施設	37 (H23)	50 (H28)	43.5	45	◎ (200%)	診療報酬施 設基準
—	男性 虚血性心疾患年齢 調整死亡率 (人口 10 万対)	%	33.9 (H22)	—	—	27.9 (H34)	—	かながわ健 康プラン 21 (第 2 次)
—	女性 虚血性心疾患年齢 調整死亡率 (人口 10 万対)	%	12.7 (H22)	—	—	11.6 (H34)	—	かながわ健 康プラン 21 (第 2 次)

※1 平成 22 年 10 月から平成 23 年 3 月までの 6 か月間の件数

※2 平成 29 年度中の 6 か月間の件数

3 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内				備考
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	
(1)	◎	健康診断・健康検査の 受診率	%	66.3 (H25)	66.3 (H25)	66.3 (H25)	66.3 (H25)	H25 年国民生活 基礎調査
(2) ア	◎	心肺機能停止傷病者全搬 送人員のうち、一般市民 により除細動が実施され た件数【都道府県】	件	99 (H24)	128 (H25)	126 (H26)	135 (H27)	H26、H27 救 急・救助の現状

(2) ア	◎	急性心筋梗塞による 死亡率（男性）	%	21.9 (H22)	21.9 (H22)	21.9 (H22)	21.9 (H22)	H22 年都道府県 別年齢調整死亡 率
(2) ア	◎	急性心筋梗塞による 死亡率（女性）	%	7.9 (H22)	7.9 (H22)	7.9 (H22)	7.9 (H22)	H22 年都道府県 別年齢調整死亡 率

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	「かながわ健康プラン 2 1（第 2 次）」の推進 - 健康寿命の延伸を図る「未病を改善する」取組みの推進により、生活習慣病対策に向けた食生活の改善、運動の習慣化などを県民が実践できる環境づくりの促進が図られた。 - 数値目標に掲げる特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れている。
評価理由	「健康寿命の延伸」の課題達成に向け、着実に進捗しているが、特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れるなど、全体としては、課題解決に向けてやや進捗が遅れている。
今後の取組の方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	- 新たな取組等が県民の健康づくりに定着化するよう、市町村、企業・団体と連携して取り組む。 「未病を改善する」取組みを推進する中で、特定健診実施率の向上に取り組む。 - 新たに、働く世代の生活習慣病対策を強化するため H29 年度から「職域連携・生活習慣病対策強化事業」を実施する。
次期計画に向けた取組の方向性	- 引き続き、市町村、企業・団体と連携し目標達成に向けた県民の健康づくりを促進する。 - 働く世代の生活習慣病対策を強化する。

(2) 医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	ア 病院前救護体制及び急性期医療 - 参考指標に掲げる心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数について、平成 27 年は 135 件で平成 25 年比 15.4%増と A E D の普及等により増加傾向にある。 - 二次救急医療機関の施設整備・運営費に対する助成を実施したことにより、県央医療圏における脳卒中・急性心筋梗塞等に対する救急機能が強化された。 - 救命救急センターの施設整備及び運営費に対する助成を実施することにより、急性心筋梗塞に対する医療提供体制の継続的確保を図った。

	・数値目標に掲げる急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数は、数値目標の目安に対して達成が遅れている。
	イ 急性期後の医療 ・整備された機器を用いて、在宅介護者等を対象とした誤嚥性肺炎防止等の知識、技術的指導を行い、在宅療養者の口腔ケアの充実が図られた。
	ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進 ・急性心筋梗塞の治療に関する医療機能について、必要な情報提供が果たされた。
評価理由	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数の数値目標の目安に対する達成状況に遅れが見られるものの、急性期医療及び急性期後の医療において必要な機器等の整備がされ、数値目標の目安も達成しており、比較的順調に進捗している。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	・在宅医療の取組みについて検討するとともに、AED設置や県救急医療情報システムの運用など、病院前救護体制及び急性期医療の充実に努める。 ・急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成手術件数については、策定時と集計方法が変更となっているため、集計方法がそろう来年度に数値の経年変化を確認し、数値目標の見直しも検討する。
次期計画に向けた取組の方向性	引き続き病院前救護体制及び急性期医療の充実に努めていく。

5 総合評価

評価	評価理由
C	「かながわ健康プラン21（第2次）」に基づき、予防体制の整備が進められているが、特定検診の実施率については数値目標の目安に対して達成が遅れている。また、早期の適切な治療開始が重要であるが、経皮的冠動脈形成手術件数の達成状況も進捗が遅れているため、課題解決に向けてやや進捗が遅れている。

6 特記事項

--